



## 新機能および変更された機能に関する情報

この章では、『Cisco Nexus 7000 シリーズ NX-OS インターフェイス コマンド リファレンス』の新機能および変更された機能に関するリリース固有の情報を示します。このマニュアルの最新バージョンは、次のシスコ Web サイトから入手できます。

[http://www.cisco.com/en/US/docs/switches/datacenter/sw/5\\_x/nx-os/interfaces/command/reference/if\\_cmd\\_ref.html](http://www.cisco.com/en/US/docs/switches/datacenter/sw/5_x/nx-os/interfaces/command/reference/if_cmd_ref.html)

Cisco NX-OS リリース 6.x に関するその他の情報については、『Cisco Nexus 7000 Series NX-OS Release Notes, Release 5.x』を参照してください。このマニュアルは次のシスコ Web サイトで入手できます。

[http://www.cisco.com/en/US/products/ps9402/prod\\_release\\_notes\\_list.html](http://www.cisco.com/en/US/products/ps9402/prod_release_notes_list.html)

次の表に、『Cisco Nexus 7000 シリーズ NX-OS インターフェイス コマンド リファレンス』の新機能および変更された機能の要約と参照先を示します。

表 1 リリース 6.x の新機能と変更点

機能	変更の内容	変更されたリリース	参照先
SSID のない F2 vPC+	<b>port-channel limit</b> コマンドが追加されました。	6.1(2)	<a href="#">port-channel limit</a>
イーサネット インターフェイス向けの低速ドレインコンフィギュレーション コマンド	コマンド <b>system default interface congestion timeout</b> 、 <b>system default interface congestion mode</b> 、 <b>system default interface pause timeout</b> 、 <b>system default interface pause mode</b> が追加されました。	6.1(1)	<a href="#">system default interface congestion timeout</a> <a href="#">system default interface congestion mode</a> <a href="#">system default interface pause timeout</a> <a href="#">system default interface pause mode</a>
	<b>show interface</b> コマンドの出力が変更されました。	6.1(1)	<a href="#">show interface</a>
仮想ポート チャンネル (vPC) 機能拡張	ピア リンクがダウンしているときに vPC をシャットダウンする機能が追加されました。	5.2(1)	<a href="#">vpc orphan-ports suspend</a>
	vPC の自動リカバリのサポートが追加されました。	5.2(1)	<a href="#">auto-recovery</a>
BFD SHA1 認証	BFD パケットの SHA-1 認証をサポートする機能が追加されました。	5.2(1)	<a href="#">bfd authentication</a>

表 1 リリース 6.x の新機能と変更点 (続き)

機能	変更の内容	変更されたリリース	参照先
SVI 自動ステート除外	VLAN 内に複数のポートがあるときに、VLAN インターフェイスのリンクアップ計算からポートを除外する機能が追加されました。	5.2(1)	<a href="#">switchport autostate exclude</a>
vPCs のサポートが追加されました。	<ul style="list-style-type: none"> <li>すべてのパケットに対してゲートウェイ MAC を使用するコマンド</li> <li>vPC ピア デバイ스에 障害が発生した場合に特定の VLAN インターフェイスを維持するコマンド</li> <li>リロード後に起動する vPC セカンダリ デバイスを遅らせるコマンド</li> </ul>	4.2(1)	<a href="#">delay restore</a> <a href="#">delay restore interface-vlan peer-gateway</a>
ポート プロファイル	インターフェイス範囲に適用可能なポート プロファイルをイネーブルにして設定するコマンドが追加されました。	4.2(1)	<a href="#">port-channel load-defer</a> <a href="#">show port-profile state enabled</a>
トンネルは VDC および VRF を使用できます。	デフォルト以外の VDC および VRF を使用するトンネル インターフェイスのサポートが追加されました。	4.2(1)	<a href="#">tunnel use-vrf</a>
delay コマンドのデフォルト値が変更されました。	<p>デフォルトの遅延はすべてのインターフェイスに対して 100 マイクロ秒でした。リリース 4.2(1) 以降のデフォルトの遅延は、次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ループバック ポートを除くすべてのインターフェイスの場合は 10 マイクロ秒</li> <li>ループバック ポートの場合は 5000 マイクロ秒</li> </ul>	4.2(1)	<a href="#">delay</a>
エラー ディセーブル	errdisable recovery cause コマンドに vpc-peerlink パラメータが追加されました。	4.1(3)	<a href="#">errdisable recovery cause</a>

表 1 リリース 6.x の新機能と変更点 (続き)

機能	変更の内容	変更されたリリース	参照先
vPC コマンド	仮想ポート チャンネル (vPC) をイネーブルにし、設定するコマンドと vPC 情報を表示するコマンドが追加されました。	4.1(3)	<a href="#">clear vpc statistics</a> <a href="#">feature vpc</a> <a href="#">peer-keepalive destination</a> <a href="#">role priority</a> <a href="#">show startup-config vpc</a> <a href="#">show startup-config vpc</a> <a href="#">show vpc</a> <a href="#">consistency-parameters</a> <a href="#">show vpc peer-keepalive</a> <a href="#">show vpc role</a> <a href="#">show vpc statistics</a> <a href="#">vpc</a> <a href="#">vpc domain</a> <a href="#">vpc peer-link</a>
キャリア遅延	carrier-delay コマンドは VLAN インターフェイスだけに追加されました。	4.0(3)	<a href="#">carrier-delay</a>

